

平成 27 年度 施策評価シート

基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組を踏まえて、町民参加により総合計画の実行管理を行い、基本構想に掲げる町の将来像、3つの理念、まちづくりの方向性に即して、国の政策、社会状況、町民ニーズを把握し、二宮町行政改革推進計画と連携しながら、柔軟で効率的な行財政運営に努めます。</li> <li>・情報、相談機能、支援体制の充実強化に努めることによって、効率的・効果的でわかりやすい町民活動支援と、町民との協力・連携によるまちづくりを推進するとともに、町民や町民団体による主体的な活動に対し、適切な支援を行います。</li> </ul>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) ボランティア活動支援窓口の一元化	1	B
(2) 窓口サービスの充実	1	C
(3) 事業費助成方式の推進	1	B
(4) 町民参加の推進	1	B
(5) 職員研修と政策・法務能力の向上	1	A
(6) 計画的な行財政改革の推進	1	A
(7) 安定的な財政基盤の確立	1	A
(8) 自主財源の確保	1	A
(9) 納税機会の拡充と収納率の向上	1	A
(10) 効率的な情報システム運営	1	A
(11) 適正な公有財産管理	1	B

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な町民相談窓口の設置</li> <li>・団体補助金の在り方など、予算編成過程の透明性確保</li> <li>・公会計システムは、国レベルの統一構築等も考えられるため、今後の動向に留意が必要。</li> <li>・人事評価制度の本格導入に向けた評価結果の反映方法の検討を行う。</li> <li>・共同システムの更なる機能向上と経費削減に向けた運用を行っていく。</li> <li>・特別徴収完全実施に向けて事業者へ周知を行う。</li> <li>・施設の計画的かつ効率的な運営を行う上で施設の再配置計画の策定を進める。</li> </ul>
--------------	--

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する                  B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する                  C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある                  D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次行政改革に則って、進めてきたが、十分な効果が得られたとは言えない。また、多くの施設が老朽化していることや設備更新が計画的に実施されていないため、計画を策定し、効率的な管理を進める。</li> </ul>
	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次行政改革の推進計画による改革を推し進める。また、公共施設の在り方について町民へのサービス提供に配慮した中で、財政面を含め中・長期的な計画を定める。</li> </ul>

◎最終評価者[庁内評価委員会]

- A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する
- B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する
- C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある
- D: 施策全体を見直す必要がある

B

意見等

行財政運営は変化していく時代に対応するため、ローリングが必要となる。そのため、第5次総合計画と第4次行政改革大綱により、現体制から一歩踏み出した行財政改革を推進していく必要がある。

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	企画政策課
基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(1) ボランティア活動支援窓口の一元化
実施計画事業	1) ボランティア活動支援事業 (No.75)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	窓口の一元化検討	—	B
02			
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性質の異なるボランティア団体の窓口の一本化についての整理</li> <li>・一本化実施に向けた担当課の調整</li> </ul>
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	ボランティアについては、行政改革においても「育成支援」が項目として掲げられ、町民活動サポートセンター、ラディアン、社会福祉協議会など複数の活動拠点で活動するボランティア窓口の一元化とともに進める必要がある。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	今後増え続けると予想される元気な高齢者の方々が活躍しやすい仕組みを作り、まちづくりに参加していただくために、第4次行政改革に「多様な主体との協働」を位置づけ、ワーキンググループで検討を進めていく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	行政改革推進計画に位置づけて進める。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(1) ボランティア活動支援窓口の一元化		実施計画事業	1) ボランティア活動支援事業 (No.75)				
予算等事業名	窓口の一元化検討							
目的	現在、複数化で実施しているボランティア活動の支援について窓口を一元化することによって事業の効率化及び町民が理解しやすい行政運営を図る。							
内容	複数にまたがるボランティア団体の窓口を一元化するため、関係各課で調整を行い、窓口の一元化について検討する。							
根拠法令・条例等	-							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input checked="" type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由	必要性を含めて検討が必要となるため。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	※予算措置無し。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	※必要性を含めて検討が必要となるため。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		C
	【説明】 各課と調整し検討していく必要があるため。		

## 総合評価

実績	なし				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	一元化に向けた検討回数				
前期(27年度)目標値	6回			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	町の行政改革の項目の中で検討を進める。(ワーキンググループ開催数 年2回)	
	0回	0回			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	—
	【説明】	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主体となり、各ボランティア団体との調整を行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	C
	【説明】 未実施であるため、成果は上がっていない。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	—
	【説明】	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 必要性も含め、事業実施方法等を検討する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性質の異なるボランティア団体の窓口の一本化についての整理</li> <li>・一本化実施に向けた担当課の調整</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	ボランティアについては、行政改革においても「育成支援」が項目として掲げられ、町民活動サポートセンター、ラディアン、社会福祉協議会など複数の活動拠点で活動するボランティア窓口の一元化とともに進める必要がある。		
今後の方向性	今後増え続けると予想される元気な高齢者の方々が活躍しやすい仕組みを作り、まちづくりに参加していただくために、第4次行政改革に「多様な主体との協働」を位置づけ、ワーキンググループで検討を進めていく。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	企画政策課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(2) 窓口サービスの充実
実施計画事業	1) 窓口サービス総合推進事業(No.76)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	窓口サービス一元化検討	—	B
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施に向けた検討課題の整理</li> <li>・実施する場合の財政的課題の整理</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	説明	窓口の一元化については、かねてから課題として位置づけられており、広域連携の中で視察などをを行っているが、検討が進んでいない。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	町民の利便性の向上という視点から、第4次行政改革に「町民サービスの向上」を位置づけ、一元化だけにとらわれず、ワーキンググループで検討を進めていく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	行政改革推進計画に位置づけて進める。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(2) 窓口サービスの充実		実施計画事業	1) 窓口サービス総合推進事業 (No.76)				
予算等事業名	窓口の一元化検討							
目的	町民サービスの向上のため、より利便性の高い窓口サービスの一元化導入に向けた検討を実施する							
内容	窓口業務の一元化について、関係各課で調整を行い、窓口の一元化について検討する。							
根拠法令・条例等	-							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由		関係各課と調整がなされていないため。						

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		※予算付けがなされていない事業						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		実現に向けた検討の効率化を図るため、各課連携しながら進めていく。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】 関係各課と連携しながら研究をしていく必要がある。						

## 総合評価

実績	なし						
中間評価との相違点							
事業指標(数値指標)	一元化に向けた検討回数						
前期(27年度)目標値	6回			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	町の行政改革の項目の中で検討を進める。(ワーキンググループ開催数 年2回)			
	0回	0回					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	—
	【説明】	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 実施に向けた検討として、町の方向性を決める必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	C
	【説明】 未実施であるため、成果は上がっていない。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	—
	【説明】	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 実施に向けた具体策の検討が必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施に向けた検討課題の整理</li> <li>・実施する場合の財政的課題の整理</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止			
理由	窓口の一元化については、かねてから課題として位置づけられており、広域連携の中で視察などをを行っているが、検討が進んでいない。		
今後の方向性	町民の利便性の向上という視点から、第4次行政改革に「町民サービスの向上」を位置づけ、一元化だけにとらわれず、ワーキンググループで検討を進めていく。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	財政課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(3) 事業費助成方式の推進
実施計画事業	1) 事業費助成方式の推進(No.77)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	事業助成方式の検討	—	B
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	団体によっては、事業費のみならず運営費にも補助金を充てている状況がある。 政策的な側面が大きく、具体的に補助金の内容まで踏み込み難い。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	説明	町の財政状況等から団体補助金については、毎年において見直しを図ってきたが、団体によっては町補助金に活動原資を大きく依存しているところもある。政策面から簡単にはいかないが、将来的な課題として随時見直していくべきである。	

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	各団体を管轄する町の部署と協力して、団体の独立性を高める努力を促し、併せて補助金についても効果的な手法等を研究していきたい。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	団体補助金については、画一的に判断できない側面もあるが、継続してあり方を見直し、検証していく必要がある。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	財政課
基本構想	戦略的行政運営	重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(3) 事業費助成方式の推進	実施計画事業	1) 事業費助成方式の推進 (No.77)
予算等事業名	事業助成方式の検討		
目的	現在、多数ある団体補助金について、事業費補助方式による効果的な補助とすることが可能か検討を行う。		
内容	—		
根拠法令・条例等	—		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	各団体の実施計画、当初予算書及び実績報告を提出してもらい、団体補助金を精査しているため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	現状の方法が効率的であるため、今後も同様に行いたい。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 今後も引き続き、同様に進めていく必要がある。		

## 総合評価

実績	平成26年4月に各団体補助金の交付申請書を預かり、団体の予算状況、計画などの使用用途を確認した。それを資料とし、次年度の予算査定を行った。		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	2回(交付申請書提出時及び次年度予算査定時)		
前期(27年度)目標値	2回		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	2回	2回	2回

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	C
	【説明】 団体補助金の検討のため、公費は発生しない。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が各団体に交付する補助金であるため、町が主体とならなければならない。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 補助内容を検討することによって、担当課も補助内容を確認・精査した上で、予算計上してくるようになった。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 公費は発生していないため。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 補助内容について、さらに踏み込んだ精査・検討が必要と思われる。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	各団体の事業内容や繰越金などを確認する必要があるため、今後も検討を実施していきたい。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	団体補助金は、団体ごとに個別の事業目的、政策的背景を有しており、これを一律の枠組みにより事業費補助とすることは困難である。		
今後の方向性	町の財政的基盤が盤石でない以上、団体補助金は削減する方向とならざるを得ない。このことから、長期的視点に立ち補助金のあり方について考察し、透明性と平等性の向上ため、制度改革に取り組みたい。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	企画政策課
基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(4)町民参加の推進
実施計画事業	1) 対話型まちづくり推進事業(No.78)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	町長とのふれあいトーク実施	—	A
02			
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施手法(目的やテーマに応じたの設定など)の検討</li> <li>・実施方法(日時、会場)の検討</li> <li>・参加人数を増加させる周知方法等の検討</li> </ul>
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	町の施策を町民に直接伝える機会を確保すること、また町民の声を直接聴く機会を設けることは重要であるが、今後、町が抱えている課題などについて町民にご理解をいただきながら、課題解決に向けた意見交換ができるよう改善が必要。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	「まちづくり移動町長室」として、地区において開催するだけでなく、共通の課題を持つ団体等にも呼び掛け、課題解決に向けた意見交換を推進する。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	まちづくりに資するテーマを設定し、目的意識を持ったうえでの開催とする。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(4) 町民参加の推進		実施計画事業	1) 対話型まちづくり推進事業 (No.78)				
予算等事業名	まちづくり移動町長室実施							
目的	行政と町民、地域が連携してまちづくりを行っていくために、対話する機会を積極的に持ち、町民同士の協力と支え合い、町民と行政との協力・連携により安全・安心で誰もが元気で暮らしやすいまちづくりに取り組む。							
内容	「まちづくり移動町長室」として、地区との共催を行うとともに、共通の課題を持つ団体等にも対話を呼び掛け、課題解決に向けた意見交換を推進する。							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		経費を伴わずに運用しているため。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		個別の課題について、より効果的・効率的な対話を行うことで効率化にも繋がる。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							B
	【説明】 参加町民からも概ね実施内容は好評であるが、町や地区が抱える課題について、より効果的・効率的な対話が図れるよう実施方法を検討しつつ継続する。							

## 総合評価

実績	「町長とのふれあいトーク」の開催(梅沢・越地・釜野・茶屋・川匂:52名、一色・緑が丘・百合が丘1・2・3丁目:53名、上町・中町・下町:31名、中里・元町北・元町南:52名、富士見が丘1・2・3丁目、松根:22名、合計210名)							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)	参加人数							
前期(27年度)目標値	—				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		参加者はより多い方がいいが、一番の目的は対話を積極的に行い、町と地域が連携してまちづくりを進めることであるため、参加人数に目標値は定めていない。			
	370名	210名						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	—
	【説明】	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 地区との共同開催により、相互間の積極的な対話を行うことができる。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 積極的な対話が図られており、一定の成果は認められるが、更なる成果向上を検討する必要がある。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 地区との共同開催により実施しているので、費用は生じない。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 参加町民からも概ね実施内容は好評であるが、町や地区が抱える課題について、より効果的・効率的な対話が図れるよう実施方法を検討しつつ継続する。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施手法(目的やテーマに応じたの設定など)の検討</li> <li>実施方法(日時、会場)の検討</li> <li>参加人数を増加させる周知方法等の検討</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	町の施策を町民に直接伝える機会を確保すること、また町民の声を直接聴く機会を設けることは重要であるが、今後、町が抱えている課題などについて町民にご理解をいただきながら、課題解決に向けた意見交換ができるよう改善が必要。
今後の方向性	「まちづくり移動町長室」として、地区において開催するだけでなく、共通の課題を持つ団体等にも呼び掛け、課題解決に向けた意見交換を推進する。

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	総務課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(5)職員研修と政策・法務能力の向上
実施計画事業	1)職員育成推進事業(No.79)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	職員研修経費	96.2%	A
02	人事評価制度導入事業	—	A
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成基本方針の策定と方針に則した研修事業の実施</li> <li>・人事評価制度については、本格導入に向けた評価結果の反映方法の検討と評価制の最終的な整備確立</li> </ul>
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	職員研修については、研修実施計画に基づき市町村研修センターへの派遣研修を中心に業務内容や職員階層に応じた研修を実施した。また、パソコンをを活用した研修などにより、職員が研修を受けやすい環境の整備にも努めた。人事評価制度については、能力評価の試行を実施し、本格導入に向けた評価結果の反映方法等を検討した。

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	職員研修及び人事評価制度ともに職員の人材育成を図るためには重要なものである。職員研修及び人事評価制度ともに人材育成基本方針に基づき計画的な実施が必要であり、人材育成基本方針を早急に策定する。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	今後、策定する人材育成基本方針に基づき、人材育成を進めるため職員の研修受講や人事評価制度の導入により職員の能力向上と意識改革を図っていく。						

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(5)職員研修と政策・法務能力の向上		実施計画事業	1)職員育成推進事業 (No.79)				
予算等事業名	職員研修経費							
目的	効果的な行政運営を行うための一人ひとりの意識改革及び創意と工夫により、積極的に課題に取り組むための一助とする。							
内容	効果的な行政運営を行なうための一人ひとりの意識改革及び創意と工夫により、積極的に課題に取り組むための一助							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		これからの人材育成を実施していく上で、研修は重要となってくるため経費の削減は難しい						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		権限委譲等により今後も事務量の増大が見込まれるため、これに対応する研修が必要となってくるため						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 職員の資質の向上、人材育成を行なっていく上で非常に重要となるため、職員研修については今後も継続して実施していく							

## 総合評価

実績	年間を通して職員研修を実施						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	職員の研修参加率						
前期(27年度)目標値	研修の参加人数 延べ419名		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	—			
	419名	475名					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		446	372	546	525		
財源内訳	一般財源	446	372	546	525		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町職員の人材育成を行うために必要な事業である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 職員が効果的かつ効率的に自治体運営を行うために必要である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 様々な研修を通して職員の実務能力の向上に繋がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 市町村研修センターで行なう研修については、県内町村でも参加者数がトップクラスであり、最小限の経費で職員の実務能力の向上を行う事が出来ている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 人材育成のために重要なものであり、能力・能率の向上を図り、業務効率を上げるために今後も必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・平成27年度中に人材育成基本方針を作成し、職務階層ごとの職責を明確にした位置づけを行うとともにこの方針をもとに研修基本計画を整備し、職務階層ごとに求められる能力向上を図るための研修を実施し、人材育成を図っていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	職員研修により職員の資質向上を図ることは、業務の効率的な運用につながる。多様化する業務に効率的に対応するためにも職員研修による人材育成は重要である。		
今後の方向性	人材育成基本方針を早期に策定し、方針に基づく研修計画の構築を図る。職員研修により職員の更なる業務能力、業務効率の向上を図る。多様化する業務に対応するため、研修センターの研修を中心に幅広い研修機会を職員に提供し、職員の業務対応能力と資質の向上を図っていききたい。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(5)職員研修と政策・法務能力の向上		実施計画事業	1)職員育成推進事業 (No.79)				
予算等事業名	人事評価制度導入事業							
目的	効果的な行政運営を行うための一人ひとりの意識改革及び創意と工夫により、積極的に課題に取り組むための一助とする。							
内容	—							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		人事評価制度を行なうなかで、評価者研修等の研修も今後も実施していく必要性があるため			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		人事評価制度を行なうなかで、評価者研修等の研修も今後も実施していく必要性があるため			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 法律等の改正により、今後人事評価が必要となっており、引き続き人事評価の本格導入にむけて継続をしていく				

## 総合評価

実績	人事評価検討委員会の実施(第1回・・・平成26年8月21日開催、第2回・・・平成26年10月7日開催)				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	—				
前期(27年度)目標値	2回/年			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	—	
	2回	2回			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	—
	【説明】 公費の投入は行なっていない。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 職員の人材育成を行うにあたり、人事評価は必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 人事評価を実施し、評価者との面接を行い、結果をフィードバックすることにより、人材育成に繋げることが出来ている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 職員の中で人事評価検討委員会を組織し、評価シート等を作成することにより、費用をかけずに人事評価を実施している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 職員の人材育成を行うためにも、人事評価については継続して行なう必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	・地方公務員法の改正に伴い、平成28年度より本格導入する必要があるため、課題となっている能力評価への業績評価の組み込みや評価結果の反映方法について、人事評価検討委員会において検討した上で、平成27年度中の本格評価の実施につなげて行く必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	職員意識の更なる向上と人材育成を図り、業務の合理的かつ効率的な運用を図るためにも、人事評価制度の確立は必要。		
今後の方向性	現在、試行による評価シートの作成評価を実施しているが、平成28年度の制度の本格導入に向けて本格評価の実際に向けて準備を進めていきたい。また、平成27年度は被評価者に対する研修を実施する予定。業績評価についても引き続き課題の検討を行っていきたい。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	企画政策課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(6) 計画的な行財政改革の推進
実施計画事業	1) 総合計画推進事業 (No.80)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	総合計画策定推進事業	—	A
02			
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民が理解しやすいシステムの運用</li> <li>・中期計画策定に向けた前期計画の総括の方法</li> </ul>
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	行政評価の目的は、総合計画の進行管理だけではなく、変化する時代に合わせ、計画そのものをより良い方向へ見直していくことにあるため、引き続き推進する必要がある。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	評価の内容について町民意見を聴取し、町民に分かり易い公表方法を検討する。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	外部評価の方法については、一層の工夫が必要である。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(6) 計画的な行財政改革の推進		実施計画事業	1) 総合計画推進事業 (No.80)				
予算等事業名	総合計画策定推進事業							
目的	総合計画の効果的・効率的な推進を図るため、行政評価に基づく進行管理を実施する。							
内容	第5次総合計画の進行管理を効率的かつ戦略的に運用するため、行政評価システムを確立し、評価を実施することで、政策形成と町民への説明責任を遂行する。							
根拠法令・条例等	-							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価 (10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		※予算措置無し						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		実施計画を毎年見直すことにより効率的に事業を進める。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							B
	【説明】 総合計画・実施計画と行政評価がより連携できるよう一部修正を行う必要がある。							

## 総合評価

実績	第5次総合計画の策定に合わせ、行政評価システムの改訂を実施。							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)	行政評価の進捗							
前期(27年度)目標値	-							【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:								
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	行政評価を毎年度実施し、事業の進行管理を行う。				
	-	-						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	—
	【説明】	
	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】	行政評価システムを確立することにより総合計画の進行管理が実現できる。
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】	新たな評価システムを導入することにより、町民へ解り易い評価とした。
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】	職員が評価を行っているため、新たな費用は発生していない。
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】	平成25年度に評価システムの改訂を行い、運用をおこなっており、必要に応じて改定を行った。
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民が理解しやすいシステムの運用</li> <li>・中期計画策定に向けた前期計画の総括の方法</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	行政評価の目的は、総合計画の進行管理だけではなく、変化する時代に合わせ、計画そのものをより良い方向へ見直していくことにあるため、引き続き推進する必要がある。		
今後の方向性	評価の内容について町民意見を聴取し、町民に分かり易い公表方法を検討する。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	財政課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(7) 安定的な財政基盤の確立
実施計画事業	1) 財政管理事業 (No.81)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	財政管理事務経費 (公会計システム)	99.9%	A
02			
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	極めて専門性が高く、知識の蓄積・継承に大きな課題がある。 国が数年内に新統一公会計基準を公表するので、対応が必要となる。 現状では町民に分かり易い形での周知はできていない。
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない (休止・廃止)	A
	説明	財産管理システムの導入、公会計システム導入とともに基準モデルを採用するなど、町村レベルとしては十分な成果をあげてきたと考える。また、システム導入のインシヤルコストも補助金を活用し、町負担を著しく抑制してきた。今後は、公表のあり方等に改善の余地があり、継続して検討課題として捉えていきたい。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	安定した事務執行を求めるのであれば、町職員の能力に依存するのではなく、必要に応じて適宜アウトソーシングするほかない。システム経費などを含め、町村情報システム共同事業組合の活用等を検討しなければならない。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	二宮町は、基準モデルを採用して実施しているが、システム採用も含め、自治体間で差異があるため、国レベルにおける統一モデルの構築等も考えられるところであり、今後の動向に留意する必要がある。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	財政課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(7) 安定的な財政基盤の確立		実施計画事業	1) 財政管理事業 (No.81)				
予算等事業名	財政管理事務経費 (公会計システム)							
目的	これまで整備を進めてきた、「固定資産台帳 (公会計管理台帳)」と、決算年度の会計データを発生主義に基づき複式的に自動仕訳を行う「公会計システム」を連携し、「基準モデル」を用いた、財務諸表を作成する。また、従来の手法では見えなかった財務情報が、より精緻な財政の全体像として明らかとなり、今後の行政運営に活用することが可能となる。							
内容	地方債を除く財政関係事務全般							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価 (10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		財務会計システムが変更になったことに伴い、データ切出し作業を職員が行うことが困難になったため。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		データ切出し作業を行う際に、アクセスを利用していたが、財務会計システムが変更となったため、複数の手順を踏まなければデータが得られなくなってしまった。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない (休止・廃止)							B
	【説明】 データ切出し用のアクセスを再整備し、事務の軽減を図る。 または、データ切出し作業も委託することが必要。							

## 総合評価

実績	平成27年3月31日に平成25年度の連結財務4表が納品された。							
中間評価との相違点	—							
事業指標 (数値指標)	財務諸表の作成・納品							
前期 (27年度) 目標値				1回	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
単位:								
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	—				
	1回	1回	1回					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,612	1,588	1,614	1,612		
財源内訳	一般財源	1,612	1,588	1,614	1,612		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 精度の高い諸表を作成するためには、システムや作成委託が必要であるため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の資産や会計データを使用して作成するため、町が主体となって実施しなければならない。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 平成23年度分から基準モデルでの公表を開始したばかりであり、3年目となる今年度も公表などを行い啓発に努めたい。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 職員でできることは、委託に頼らず職員が行い、経費を節減している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 財務諸表は毎年作成・公表していくものなので、途中で業者等が変わると、年度の比較がしづらくなるなど弊害が出る恐れがある。報告結果及び委託業者にも問題がないので、しばらくは現状維持のまま実施していきたい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・業者との打ち合わせ回数を増やすことで、進捗状況や問題点を確認していきたい	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	極めて専門性が強い業務であり、現状で財務諸表を包括的に理解している職員はいないと言っても過言ではない状況である。このことから、常に職員の異動というリスクを抱えて業務を遂行するより、アウトソーシングにより安定的に事務を進めるべきである。		
今後の方向性	国が配布する予定の統一方式によるシステムが当町の現状と照らし合わせ、利用可能であればアウトソーシングの一部を省略し、職員の手で進めていくこととしたい。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	企画政策課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(8) 自主財源の確保
実施計画事業	1) 行政改革推進事業 (No.82)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	行政改革推進事業	22.7%	A
02			
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	・平成27年度上半期中の第4次行政改革大綱及び推進計画の策定及び推進管理
--------------	--------------------------------------

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	未実施の項目についても総括し、項目を整理した上で、第4次行政改革を進める必要がある。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	これまでの行政改革の内容を総括し、第4次行政改革大綱及び推進計画を策定する。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	職員意識の改革をさらに推進する。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(8) 自主財源の確保		実施計画事業	1) 行政改革推進事業 (No.82)				
予算等事業名	行政改革推進事業							
目的	行政改革を進めるとともに、民の力を活用した行政施策の推進、経営感覚豊かな行政運営の推進により、効率的で質の高い行財政運営を行います。							
内容	行政改革を進めるため、計画の進行管理を行う。また、次期行政改革大綱及び推進計画を策定するため、検討を行う。							
根拠法令・条例等	-							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	本年度にて現行の実施形態が終了となるため、次年度に向けたより効率的な評価方法を検討していく。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				C
	【説明】 本年度にて現行の実施形態が終了するため、次年度に向けた全体的な見直しを検討する必要があるため。				

## 総合評価

実績	行政改革推進本部会議の開催及びワーキンググループ会議の開催				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	行政改革推進計画進捗率の向上				
前期(27年度)目標値	100%			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	二宮町行政改革大綱及び二宮町行政改革推進計画を基に事業進捗率の管理を行い、事業遂行を図る。また、新たな行政改革大綱及び推進計画を策定し、推進する。	
	70%	70%			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	132	30		
財源内訳	一般財源			132	30		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 効率的な行政運営を図るため、町が実施する必要がある。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 行政改革は効率的な行政運営を目指すものであり、町が実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 未実施・未達成の項目については、次期行政改革大綱に繋げていく。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 行政改革大綱策定のための検討委員会委員報酬費であることから、効率的である。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 第3次行政改革大綱の検証を行い、第4次行政改革大綱に反映させながら、今後も効率的、効果的な行政運営を継続する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・平成27年度上半期中の第4次行政改革大綱及び推進計画の策定及び推進管理	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	未実施の項目についても総括し、項目を整理した上で、第4次行政改革を進める必要がある。		
今後の方向性	これまでの行政改革の内容を総括し、第4次行政改革大綱及び推進計画を策定する。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	税務課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(9) 収納機会の拡充と収納率の向上
実施計画事業	1) 収納率向上対策事業 (No.83)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	徴収事務事業	91.7%	A
02	収納率向上対策事業	69.9%	A
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	<p>県税務職員の短期派遣制度が縮小された。</p> <p>コンビニ収納件数の増加により手数料の支払額が増加した。</p> <p>平成28年度からの特別徴収完全実施に向けて検討が必要。</p>
--------------	--

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持</p> <p>B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある</p> <p>C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)</p>	A
	<p>説明</p> <p>積極的な滞納処分により滞納繰越分の圧縮を図るとともに、滞納整理事務嘱託員との連携により現年滞納者への早期催告を実施し、収納率の目標を達成するなど成果をあげている。</p> <p>また、平成26年度よりコンビニ収納を開始し、納税者の利便性の向上を図った。</p>	

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	<p>今後も積極的な滞納処分により滞納繰越分の圧縮を図るとともに、ミラーズロックなど新たな手法による滞納処分の実施や、コンビニ収納を活用し、さらなる収納率向上を目指す。</p>		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	<p>今後も積極的な滞納処分により滞納繰越分の圧縮を図るとともに、納税機会の確保からコンビニでの納税を取り入れた。また、新たな手法による滞納処分を検討し、さらなる収納率向上を目指す。</p>		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	税務課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(9) 収納機会の拡充と収納率の向上		実施計画事業	1) 収納率向上対策事業 (No.83)				
予算等事業名	徴収事務事業							
目的	町税及び国民健康保険税等の収納率向上のため、納税者への啓発と目的達成のための必要な事業							
内容	国税徴収法、地方税法及び二宮町税条例に基づく、町税確保のための徴税手続きに必要な事務経費							
根拠法令・条例等	地方自治法、国税徴収法、地方税法及び二宮町税条例							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

## 総合評価

実績	平成26年度 滞納繰越分収納率39.20%						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	収納率						
前期(27年度)目標値	滞納繰越分30%			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	他市町村との比較			
	34.38%	39.20%					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,712	2,682	1,857	1,702		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町の収入の大部分である税金の徴収に関しては、賦課とともに町で実施する必要がある。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町の収入の大部分である税金の徴収に関しては、賦課とともに町が主体となり実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 収納率の目標は達成できている。また、26年度よりコンビニ収納を実施しており、納税者の利便性が向上している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 コンビニ収納の実施により、催告書の発送などが削減できている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 税金の徴収にあたっては収納率の目標を達成するなど成果をあげている。貴重な税金の徴収であるので引き続き実施する。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・収納データについて、早期の消込を実施しているが、納付日から出納課にデータが届くまでのタイムラグが課題である。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	収納率の目標を達成するなど成果を上げている。		
今後の方向性	コンビニ収納の実施により納税機会の拡充を図るとともに、さらなる収納率向上を目指す。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	税務課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(9) 収納機会の拡充と収納率の向上		実施計画事業	1) 収納率向上対策事業 (No.83)				
予算等事業名	収納率向上対策事業							
目的	町税及び国民健康保険税等の収納率向上のため、納税者への啓発と目的達成のための必要な事業							
内容	町税及び国民健康保険税等の収納率向上のため、納税者への啓発と目的達成のための必要な事業経費							
根拠法令・条例等	国税徴収法、地方税法及び二宮町税条例							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績	平成26年度 滞納繰越分収納率39.20%				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	収納率				
前期(27年度)目標値	滞納繰越分30%			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	他市町村との比較	
	34.38%	39.20%			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		6,404	6,166	6,755	4,719		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町の収入の大部分である税金の徴収に関しては、賦課とともに町で実施する必要がある。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町の収入の大部分である税金の徴収に関しては、賦課とともに町が主体となり実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 非常勤嘱託員による電話催告や納付書の消込作業などにより、職員が滞納処分に専念できる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 電話催告等を行うことで滞納者の納税を促し、財産調査、滞納処分により税収増が見込まれる。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 税金の徴収にあたっては収納率の目標を達成するなど成果をあげている。貴重な税金の徴収であるので引き続き実施する。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・県とも連携して更なる収納率向上を目指す。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	収納率の目標を達成するなど成果を上げている。		
今後の方向性	早期の電話催告や滞納処分を進めるとともに、タイヤロックやミラーズロックを活用した自動車の差押を行うなど、さらなる収納率向上を目指す。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	総務課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(10) 効率的な情報システム運営
実施計画事業	1) 情報システム運営事業 (No.84)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	契約検査事務管理経費(電子入札の推進)	97.9%	A
02	電算運用事業	98.3%	A
03	ITふれあい館振興事業	99.6%	A
04	電子自治体共同運営事業	85.6%	A
05	町村共同利用型情報システムサービス事業	100.0%	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子自治体の事業については電子申請の更なる利用者数の向上</li> <li>ITふれあい館については、サービス機能のラディアンへの円滑な機能移転</li> <li>共同システムについては更なる機能向上</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	電算運用事業については、業務の合理的かつ効率的な運用のための端末及びネットワークの構築が図られた。ITふれあい館については、ラディアンへの機能移転を踏まえつつ、講習会事業を中心にITサービスの提供を行った。電子自治体事業については、職員採用試験申込を中心に電子申請サービスの提供を行った。町村共同システムについては、共同運用により経費節減と業務の効率化が図られた。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	電算運用事業についてはセキュリティを確保しつつ、端末環境の更なる整備充実により業務の一層の効率化を図る。ITふれあい館についてはサービス機能のラディアンへの円滑な機能移転を図る。電子自治体事業は電子申請の更なる利用向上を図る。共同システムはシステムの更なる機能向上と経費節減が図られるようシステム組合と連携して運用を行う。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	電算運用については、業務において効率的な運営が図られた。引き続き、端末環境の整備を進めて行く。町村共同システムについては、システムの機能向上と経費節減が図られた。また、新たなシステム導入に向けて、利便性と経費削減を図る。ITふれあい館については、本年度、ラディアンへの機能移転を進め、ITサービスの向上、図書の情報とIT情報の取得の統合が図られる。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	財政課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(10) 効率的な情報システム運営		実施計画事業	1) 情報システム運営事業 (No.84)				
予算等事業名	契約検査事務管理経費 (電子入札の推進)							
目的	電算の運用経費であり住民情報・財務会計システム等の安定稼働及び事務の省力化・効率化を図る。また、かながわ電子入札共同システムを活用し、適正な入札執行を目指す。							
内容	電子入札 (契約) 及び検査にかかる事務費							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価 (10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		年度ごとにより、電子入札にかかる経費の内容が異なるため、削減は不透明である。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		現状の方法が効率的であるため、今後も同様に行いたい。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない (休止・廃止)							A
	【説明】 町独自の入札システムを導入することは、費用面も含めて困難なため、現状使用している県システムを引き続き利用していく。							

## 総合評価

実績	電子入札共同システムにおいて、一般入札を実施している。							
中間評価との相違点	—							
事業指標 (数値指標)	電子入札実施件数							
前期 (27年度) 目標値	100件			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
単位:								
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度の実績件数が87件であり、例年以上の件数を目標としたので、100件とした。				
	80件	87件						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,054	1,524	2,113	2,068		
財源内訳	一般財源	2,054	1,524	2,113	2,068		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 神奈川県内で共同で行っているシステムを使用しているため、負担金などの費用が発生することは妥当と考える。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町の事業に対する入札を行うため、町が主体で実施しなければならない。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 入札実施数は増となっており、成果が上がっていると判断している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 町単独で入札システムを構築・運営した場合、費用は格段に増となる。現段階では負担金などの最低限の費用で入札を行えているため、効率性は高い。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 業者も含め電子入札システムが浸透している。また、LGWAN回線のためセキュリティ上では情報流出の恐れがなく安全であり、サポートセンターも迅速・適切な対応を行っている。そのため、今後も現状維持で電子入札システムを使用していきたい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子入札システムは使用時間が限られていることが課題</li> <li>電子入札システムの動作環境に対応したOSやカードリーダーなどを使用しなければならず、市場とずれが生じ、購入製品が限られてしまうことがある</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	電子入札による入札執行を開始してからは、一定の事務の効率化が認められた。		
今後の方向性	町内の一部業者にあっては、電子入札の登録をしていない業者もいることから、普及啓発に努めたい。また、最低制限価格のさらなる適用拡大について調査・研究に努めたい。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(10) 効率的な情報システム運営		実施計画事業	1) 情報システム運営事業(No.84)				
予算等事業名	電算運用事業							
目的	電算の運用経費であり住民情報・財務会計システム等の安定稼働及び事務の省力化・効率化を図る。							
内容	庁内LAN(町業務パソコンとネットワーク)の高度化と町行政情報(データ)の電子化推進による事業合理化とセキュリティ強化の推進。							
根拠法令・条例等	二宮町情報セキュリティポリシー							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	定例の機器調達(借上げ)は年1回とし、スケールメリットによる調達価格の低減を検討できる。27年度は3回の調達を1回にまとめる予定。最終的には基幹系の入替とともに機器を入れ替えるようにする。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	できることは順次実施しており、限られた予算の中では今以上の効率化は困難である。しかし、それでも今後検討するとすれば、庁内ネットワークのあり方を見直しである。これは、情報システム班のみならず、全職員の事務の効率化に資する可能性が高いからである。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 より安価に、より効率的に町業務が遂行でき、かつよりセキュリティを確保できるインフラとなるよう検討していく。				

## 総合評価

実績	業務上のインフラとしての機能を正常に維持した。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	—				
前期(27年度)目標値	—				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	—	—			
業務上のインフラとしての機能を、セキュリティを含め維持向上し、業務効率のさらなる向上を図る。					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		30,227	30,044	26,981	26,516		
財源内訳	一般財源	30,227	30,044	26,981	26,516		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町業務遂行にとって、今やひとり一台の業務用端末(パソコン)、各種システム(サーバ)、周辺機器及びネットワークは不可欠な、いわば業務上のインフラである。公費を投入する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町業務遂行上のインフラにかかる調達及び維持管理は、町が実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 庁舎と11の出先機関をネットワークで結んでいる。これにより、各種システムや業務ファイルが出先機関でも使用でき、リアルタイムで情報共有ができています。 また、出先機関2か所で証明発行業務を実施し、住民サービスにも寄与している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 事業費の約半分を占める端末等の借上料(15,880千円)は入札とし、費用を抑えている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 上記各項目別評価のとおり、現状維持としたい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	より安価に、より効率的に町業務が遂行でき、かつよりセキュリティを確保できるインフラとなるよう検討していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	合理的かつ効率的な事務執行のためには、業務用端末、周辺機器及びネットワークの構築は、必要不可欠なものである。		
今後の方向性	更なる業務の効率化を図るため、セキュリティを確保しつつ、業務用端末環境の整備を図っていく。各課の業務連携にあたっては、共有フォルダーを活用するなど情報の共有化も図り、より効率的な業務運用を行う。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(10) 効率的な情報システム運営	実施計画事業	1) 情報システム運営事業 (No.84)
予算等事業名	ITふれあい館振興事業		
目的	IT振興に係る事業を行い、情報格差解消と、テレワーク推進のための施設利活用を目的とする。		
内容	誰もがいつでも最先端の情報通信技術を体験及び利用できる地域開放型の施設を運営する。		
根拠法令・条例等	二宮町ITふれあい館の設置及び管理に関する条例		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施	
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか	
<input checked="" type="checkbox"/> ① 検討できる	<input type="checkbox"/> ② 削減は困難
理由	館の機能移転時に、IT講習等委託の見直しを検討できる。

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか	
<input type="checkbox"/> ① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/> ② 効率化は困難
理由	IT振興・啓発にかかる事業としては低廉にまともっている。今以上の効率化は困難である。

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 館本体や館機能のあり方は、公共施設再配置計画の動向に基づき対応する。	

## 総合評価

実績	障がい者向け講習をはじめ、スマートフォンの魅力を紹介するなど、初心者高齢者障がい者のITリテラシー向上に寄与した。		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	—		
前期(27年度)目標値	—		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	—	—	時代の要請に合った講習会を開催する。新たな情報機器に対応していく。

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,341	4,108	4,320	4,304		
財源内訳	一般財源	4,101	3,866	4,000	3,986		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	240	242	320	318		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 パソコンに接したことがないという極めて初歩の段階の人、障害のためにパソコンを始めるのを躊躇っている人、次々に登場するタブレット端末等の新たな情報機器に戸惑っている人等にとって、最初のきっかけとして公共サービスを実施することは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 上記のような人には、人が接する指導が最も効果がある。住民に一番近い自治体である町が実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 講習会を受講した方は徐々にパソコン操作に慣れていき、サービスコーナーで自由に操作できるようになっていく。また、スマートフォンの講習については、座学ながら好評をいただいている。利用者数については、平均36名/日(証明発行を除く)という来館者数は、館の規模を考えれば十分に利用していただいていると言える。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 インターネットサービスコーナー等における指導のすべてと講習会の大部分はNPO法人に委託している。民間企業に委託するより安価に実施できている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 上記各項目別評価のとおり、現状維持としたい。	
今後の方針(課題・意見等を箇条書き)	館本体や館機能のあり方は、公共施設再配置計画の動向に基づき対応する。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	講習会事業を中心としたIT関連情報のサービス提供は、必要なものである。町が事業提供をすることも必要であるが、関係団体に委託できる要素も多くあるため、施設機能の移転、統廃合の検討と併せて検討をする必要がある。		
今後の方向性	施設機能の移転、統廃合の検討と併せて、提供するサービス内容の検討を行う。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(10) 効率的な情報システム運営	実施計画事業	1) 情報システム運営事業 (No.84)
予算等事業名	電子自治体共同運営事業		
目的	インターネットを利用して自宅パソコン、公衆端末やモバイル機器から簡単に申請や届出ができるようにする。		
内容	電子自治体の実現を目指し、県と市町村の共同運営によりインターネットによる行政サービスを提供する。		
根拠法令・条例等	二宮町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施	
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか	
<input checked="" type="checkbox"/> ① 検討できる	<input type="checkbox"/> ② 削減は困難
理由	27年度にシステム入替を予定している。電子申請・届出システムは共同運用だが、協議会事務局ではすべての利用団体が現在より安価に利用できるよう検討している。

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか	
<input type="checkbox"/> ① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/> ② 効率化は困難
理由	事業は十分に効率化されている。システムに合わせた運用となっているため、今以上の効率化は困難である。

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 申請者の利便性が向上するよう、手続きの種類や方法を検討していく。	

## 総合評価

実績	電子申請届出件数:131件 インターネットから利用できる申請及び手続きの数(26年度延べ):27件		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	—		
前期(27年度)目標値	—		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	—	—	—
	手続きの種類や方法を検討し、申請者の利便性を高める。		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		346	249	353	302		
財源内訳	一般財源	346	249	353	302		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 電子自治体の構築は国の方針である。町としても住民の利便性を向上させたいため、実施したい。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 電子的にやりたい、またはできる申請は各自自治体により異なるため、町が主体になる必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 職員採用試験については、113件の電子申請による申込があった。幅広く人材を募るという職員採用の趣旨を達成できている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 神奈川県と県下31市町村および水道企業団で「神奈川県市町村電子自治体共同運営協議会」を構成し、協議会として電子申請・届出システムを調達して共同利用している。単独調達及び利用より安価に実施できている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 上記各項目別評価のとおり、現状維持としたい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	申請者の利便性が向上するよう、手続きの種類や方法を検討していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	電子申請のサービス提供により、利用者の利便性の向上が図られており、県の共同システムの利用により、経済的にも合理的な運用ができている。		
今後の方向性	国の方針でもある電子自治体の構築の方向性に基づき、利用者の利便性の向上と業務の合理的、効率的運用を図って行きたい。平成25年度より町職員採用試験の申込に電子申請を導入し、積極的に活用を図っている。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課		
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立	
分野別方針	(10) 効率的な情報システム運営		実施計画事業	1) 情報システム運営事業 (No.84)	
予算等事業名	町村共同利用型情報システムサービス事業				
目的	民間のデータセンターやパッケージソフトを町村が共同で利用することにより、システム費用の低減化及び業務の効率化を図る。				
内容	民間のデータセンターやパッケージソフトを町村が共同で利用することにより、システム費用の低減化及び業務の効率化を図る。				
根拠法令・条例等	神奈川県町村情報システム共同化推進の基本方向の合意 町村情報システムの共同事業に関する合意書 神奈川県町村情報システム共同事業組合規約				
体制	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	H23.10～H28.9までの経費は決まっているので、システム組合と事業者との調整の中で多少の削減はあるかもしれないが、基本的に削減は困難である。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	システムに合わせた運用を行い、効率的に事業を実施している。今以上の効率化は困難である。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 共同システムの使い勝手をさらに向上させるため、限られた予算で効果的にカスタマイズできるよう組合に働きかけていく。				

## 総合評価

実績	H24.9に共同運用に移行した。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	—				
前期(27年度)目標値	—				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	システム運用経費において、単独運用より30%以上削減する。	
	—	—			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		35,957	33,682	34,779	34,778		
財源内訳	一般財源	35,957	33,682	34,779	34,778		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 基幹系(住民情報)にかかる業務であり、町が実施しなければならない。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 住民情報システム自体は共同運用となったが、実際に業務を遂行するのは町である。町が主体となる必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 共同運用移行にあたり、紙や表計算ソフトで管理していた業務のいくつかを共同システムに追加し、データ連携できる業務が増えた。また、サーバ4台を廃止した。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 システム運用経費は、30%削減が達成されている。従来業務のほかに新業務を追加したので実際の削減率は30%未満となったが、上記のとおり業務の効率化は図られている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 上記各項目別評価のとおり、現状維持としたい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	共同システムの使い勝手をさらに向上させるため、限られた予算で効果的にカスタマイズできるよう組合に働きかけていく。 基幹系、内部系以外の業務システムの共同運用の可能性を組合に働きかけていく。 システム経費以外の経費(アウトソーシング等)を含めたトータルな経費の検証を行う。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	共同システムの運用により、経費節減と業務の効率化が図られている。		
今後の方向性	平成26年度にはシステム組合による共同化の効果検証が進められた。共同システムの更なる機能向上により、一層の経費節減と業務の効率化が図られるよう組合に働きかけて行きたい。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	公共施設課
基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理
実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業(No.85)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	庁舎維持管理経費	98.2%	B
02	財産管理経費(公有財産システム保守等、公共施設マネジメント計画の策定)	95.7%	B
03	庁用車管理経費	85.8%	A
04	一般経費(各種管理責任者講習)	—	A
05	町民センター維持管理経費	97.8%	B
06	駅前町民会館維持管理経費	95.2%	A
07	老人憩の家維持管理経費	97.8%	B
08	児童館維持管理経費	99.8%	B
09	体育施設維持管理経費	96.8%	B
10	保健センター管理運営経費	96.5%	B
11	高齢者福祉施設関係経費	94.6%	B
12	ITふれあい館管理事業	97.7%	A
13	町民活動サポートセンター管理運営事業	95.5%	B
14	町民サービスプラザ管理運営事業	97.9%	A
15	環境衛生センター維持管理経費	92.7%	A
16	袖が浦プール運営経費	92.7%	C
17	観光施設維持管理事業	91.5%	A
18	消防庁舎維持管理経費	96.0%	B
19	図書館運営事業	99.1%	B
20	ふるさとの家維持管理事業	93.9%	D
21	生涯学習センター管理運営事業	98.4%	A
22	ふたみ記念館管理運営事業	94.9%	B
23	テニスコート施設管理運営経費	95.1%	B
24	武道館施設管理運営経費	82.1%	B
25	町立体育館施設管理運営事業	99.7%	B
26	町民運動場施設管理運営事業	96.7%	B
27	山西プール施設管理運営事業	98.2%	B
28	町民温水プール施設維持管理事業	99.2%	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新年数を迎える施設の計画的かつ効率的な改修及び更新</li> <li>・町民サービスの現状維持を継続させ、経費節減を行う</li> <li>・有料施設における収支比率の適正化</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	説明	各施設において、管理に係る経費の節減を心がけているが、多くの施設において老朽化した施設や設備の更新等が計画的に実施されていない。更新計画を策定し、効率的な管理をする必要がある。	

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	施設の維持管理に必要な経費については継続して節減するとともに、老朽化した施設や設備を更新するための計画を定める必要がある。また有料施設については、利用者へのサービス向上と経費節減を念頭に収支比率の適正化を図る。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	各施設において維持管理経費の削減に努めている。今後は老朽化した施設や設備の存続・廃止について、町民へのサービス提供に配慮した中で、財政面を含めて中・長期的な計画を定める。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理	実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)
予算等事業名	庁舎維持管理経費		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>		
内容	庁舎内の機械設備の保守点検及びその他設備の管理等を行い、庁舎環境の維持を図る。		
根拠法令・条例等	—		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他		

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか <input checked="" type="checkbox"/>			
① 計画どおりに進捗している		② 計画より遅れている	
		③ 未実施	
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減は検討できるか <input checked="" type="checkbox"/>			
① 検討できる		② 削減は困難	
理由	機能維持に係る経費削減や効率的な修繕は引き続き行うが、施設(設備含む)の更新が必要な状態であるため、経費削減は困難である		

3) 4割以上以上の事業の効率化は図れるか <input type="checkbox"/>			
① 検討できる		② 効率化は困難	
理由	今後の施設(設備含む)の更新においては、長期的な計画を策定することで効率的な更新が可能である		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	<b>【説明】</b> 引き続き、効率的な施設管理を実施し、施設更新等においては長期的な計画を策定していく必要がある		

## 総合評価

実績	庁舎の機能及び環境の維持がはかれている		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	庁舎の機能及び環境の維持・向上		
前期(27年度)目標値	庁舎の機能及び環境の維持・向上		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	—	—	—
庁舎の機能及び環境維持・向上を目的しており、数値的な評価指標では表せない			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		28,625	27,820	38,369	37,692		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 行政サービスの拠点である役場庁舎の機能及び環境維持は必要である	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町主体の維持運営を基本とし、各設備保守等を必要に応じ委託する必要がある	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 庁舎の機能及び環境の効率的な維持運営がはかれているといえる	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 機能維持に係る経費節減や効率的な修繕等行っているが、より効率的に行うため長期的な計画が必要である	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 機能維持において、経費節減等行っているが設備修繕及び更新について長期的な計画を作成することでより効果的な運用管理をする必要がある	
今後の方針 (課題・意見等□箇条書き)	・庁舎機能維持及び継続的な維持経費節減 ・老朽化した□物及び設備の計画的且□率的な更新 □	

◎評価者[担当主管課長]

◎評価者[担当主管課長]	
	① 現状維持      ② 改善して町が実施      ③ 改善して町以外が実施      ④ 廃止
理由	行政サービスの拠点である役場庁舎の機能及び環境維持について目的は達成できている。
今後の方向性	機能維持にあたり経費節減を継続して行き、効率的な設備等を更新するための長期的な計画を定め運営する。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	財産管理経費 (公有財産システム保守等、公共施設マネジメント計画の策定)							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	町有財産等の管理に要する経費							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		機能維持に係る経費削減や効率的な修繕を行っており、これ以上の削減は困難である			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		より効率的な管理運営を行うため長期的な計画が必要である			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 引き続き、効率的な財産管理を実施していく必要がある				

## 総合評価

実績	公有財産の適切な管理がはかられている				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	公有財産の適切な管理				
前期(27年度)目標値	公有財産の適切な管理			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	公有財産の適切な管理を目的しており、数値的な評価指標では表せない	
	—	—			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		14,145	12,589	39,611	37,923		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町有財産の適切な管理を町が実施することは妥当である	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 町主体を基本としているが、必要に応じ委託する必要がある	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 成果が上がっているといえる	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 機能維持に係る経費節減や効率的な修繕等行っているが、より効率的に行うため長期的な計画が必要である	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 引き続き、効率的な財産管理を実施していく必要がある	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・公共施設再配置計画の作成	

◎評価者[担当主管課長]	
	<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	財産の維持に係る経費の節減や効率的な修繕等行っているが、公共施設の再配置等により更なる効率化を図る必要がある
今後の方向性	公共施設再配置計画を策定し、施設運営の効率化を図る

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	庁用車管理経費							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	共用車15台の維持管理に要する経費							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		車両更新時の競争入札等により、経費削減を検討することができる		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		リース車両への切り替えにより、車両管理の効率化を図ることができる		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	<b>【説明】</b> 適切な配置や、環境に配慮した車両の更新など引き続き、効率的な庁用車の運用を図る			

## 総合評価

実績	低公害車2台導入(更新)		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	エコカーの導入台数		
前期(27年度)目標値	10台		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:			
実績値	平成25年度	平成26年度	第2次環境基本計画実施計画の目標値より
	2	1	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,826	4,102	4,698	4,032		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 庁用自動車を庁舎等に配置することで住民対応を主とした業務遂行をより迅速に行うため、実施することは必要である	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主導となり推進していく必要がある	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 庁用車の適切な配置により成果が上がっている	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 リース車両の導入により、費用負担の均等化を図ることができている	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 適切な配置や、環境に配慮した車両の更新など引き続き、庁用車の運用の推進を図る	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	低公害車の導入だけでなく、環境に配慮した更なる庁用車の運用の推進を図る EV車の導入やEV充電設備の設置について検討していく	

<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
◎評価者[担当主管課長]	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	過不足無い適切な台数を保有し、更新時には環境に配慮した車両の導入等が図られている
今後の方向性	EV車の導入や関連施設の設置を検討し、環境に配慮した車両の導入を推進する

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	一般経費(各種管理責任者講習)							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	防火管理者講習、特別管理産業廃棄物管理責任者講習の受講							
根拠法令・条例等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防法</li> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律</li> </ul>							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		法律に基づく講習であり、管理者変更時には受講が必要となるため			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		法律に基づく講習であり、管理者変更時には受講が必要となるため			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	<b>【説明】</b> 異動等により管理者が変更した際必要に応じて受講しており、引き続き事業を実施する				

## 総合評価

実績	講習の受講				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	受講回数/必要受講回数				
前期(27年度)目標値	100%			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	0	100			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	21	21		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 法律に基づく講習であるため、町で実施する必要がある	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 法律に基づく講習であるため、町で実施する必要がある	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 管理者の変更に伴い受講しており、成果が上がっている	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 管理者の変更に伴い受講しており、適切である	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 管理者の変更などによる必要に応じ受講しているため、引き続き事業を実施する	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)		

<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ◎評価者[担当主管課長]			
① 現状維持	② 改善して町が実施	③ 改善して町以外が実施	④ 廃止
理由	施設管理に必要な資格の取得を適正に実施している		
今後の方向性			

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課
基本構想	戦略的行政運営	重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理	実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)
予算等事業名	町民センター維持管理経費		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>		
内容	町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場として、また、庁舎機能の一部として町民センターを効果的に活用するための管理運営経費		
根拠法令・条例等	—		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
			③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか	
<input type="checkbox"/>	① 検討できる
<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	機能維持に係る経費削減や効率的な修繕は引き続き行うが、施設(設備含む)の更新が必要な状態であるため、経費削減は困難である

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか	
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる
<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	今後の施設(設備含む)の更新においては、長期的な計画を策定することで効率的な更新が可能である

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き、効率的な施設管理を実施し、施設更新等においては長期的な計画を策定していく必要がある	

## 総合評価

実績	町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場としてまた、庁舎機能の一部として活用できている		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	収支比率(工事請負費を除く)		
前期(27年度)目標値	25.0%		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	24.0%		
経年劣化による修繕箇所が増や光熱水費の高騰による支出増が見込まれることや現在の運営状況の維持向上を勘案すると収支比率は下落傾向となるため、実績値の現状維持を目標値とした			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		15,485	14,983	14,764	14,436		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場として、また、庁舎機能の一部として現住活用しているが、今後の運営については、類似施設との総合的な運営により、妥当性を検討することも必要である	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 庁舎機能の一部として利用があることや効率的な運用の観点からも町主体の維持運営を基本とし、各設備保守等を必要に応じ委託する必要がある	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場としてまた、庁舎機能の一部として活用しつつ、効率的な維持運営が図れているといえる	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 機能維持に係る経費節減や効率的な修繕等行っているが、より効率的に行うため長期的な計画が必要である	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 機能維持において、経費節減等行っているが設備修繕及び更新について長期的な計画を作成することでより効果的な運用管理をする必要がある	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能維持及び継続的な維持経費節減と収支比率の向上</li> <li>・老朽化した建物及び設備の計画的且つ効率的な更新</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場である町民センターの機能及び環境維持について目的は達成できている。
今後の方向性	機能維持にあたり経費節減を継続して行い、効率的な設備等を更新するための長期的な計画を定め運営する。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	駅前町民会館維持管理経費							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場として、駅前町民会館を効果的に活用するための管理運営経費							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		機能維持に係る経費削減や効率的な修繕をおこなっており、機能維持に必要な経費削減は困難である			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		利用状況等に合わせた効率的運用を引き続き実施し、施設の存続等の長期的な計画を策定することで効率的な更新が可能である			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	<b>【説明】</b> 引き続き、効率的な施設管理を実施し、施設更新等においては長期的な計画を策定していく必要がある			

## 総合評価

実績	町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場として活用できている			
中間評価との相違点	—			
事業指標(数値指標)	収支比率(工事請負費を除く)			
前期(27年度)目標値	97%			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】 経年劣化による修繕箇所が増や光熱水費の高騰による支出増が見込まれることや現在の運営状況の維持向上を勘案すると収支比率は下落傾向となるため、実績値の現状維持を目標値とした
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	96.8%			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,159	2,011	2,145	2,042		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場として現在活用しているが、今後の運営については、類似施設との総合的な運営により、妥当性を検討することも必要である	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 効率的な運用の観点からも町主体の維持運営を基本とし、各設備保守等を必要に応じ委託する必要がある	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場として活用されており、効率的な運営ができています	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 光熱水費節約や観光協会との連携等による経費節減と使用料金適正化等による収入増で収支率は高い水準である	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 機能維持において、経費節減等行えており、より効果的な運用管理をし、収支比率の向上に努める必要はあるが運営状況は良好といえる	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能維持及び継続的な維持経費節減と収支比率の向上</li> <li>・老朽化した建物の存続・廃止を含めた計画策定</li> </ul>	

<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
◎評価者[担当主管課長]	
	<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの場である町民会館の機能及び環境維持について目的は達成できている。
今後の方向性	維持経費の削減を今後も継続し収支比率の向上を図る一方、老朽化した建物の存続等について検討する。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	老人憩の家維持管理経費							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	町内8ヶ所の老人憩の家の運営管理を行い、老人憩の家の簡易修繕等を行う。							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		機能維持に係る経費は地域への交付金で対応し、修繕等についても削減に努めており、施設の老朽化も進んでいるため経費削減は困難である			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		施設の存続等の長期的な計画を策定することで効率的な更新が可能である			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	<b>【説明】</b> 引き続き、効率的な施設管理を実施し、施設更新等においては長期的な計画を策定していく必要がある				

## 総合評価

実績	老人憩の家の統括的かつ効率的な運営がはかれている				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	地区要望(施設建替・移転等の要望は除く)への非対応件数				
前期(27年度)目標値	—				<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>
単位:	限られた予算により、要望どおりの対応ができないこともあるが代替策等を含め対応することを基本とする				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	1		非対応件数とは、具体的な方針・対応が示せなかったものの		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,486	3,178	5,593	5,472		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 現在、町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの拠点として活用されているが、今後の運営については、類似施設との総合的な運営により、妥当性を検討することも必要である	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 利用及び施設への意見・要望が各地域主体のため、統括的かつ画一的な運営や判断について町主体で実施する必要がある	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの拠点として活用されている	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 経費節減しつつ効率的な運営が図れている	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 機能維持において、経費節減等行えているが長期的な計画を作成することでより効果的な運用管理をする必要がある	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能維持及び継続的な維持経費節減</li> <li>老朽化した建物の存続・廃止を含めた計画策定</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]	
	<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	地域のコミュニティづくりの場である老人憩の家の機能維持について目的は達成できている。
今後の方向性	維持経費の削減を今後も継続する一方、老朽化した建物の存続等について検討する。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	児童館維持管理経費							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	町内8ヶ所の児童館の運営管理を行い、児童館の簡易修繕等を行う。							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	機能維持に係る経費は地域への交付金で対応し、修繕等についても削減に努めており、施設の老朽化も進んでいるため経費削減は困難である				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	施設の存続等の長期的な計画を策定することで効率的な更新が可能である				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	<b>【説明】</b> 引き続き、効率的な施設管理を実施し、施設更新等においては長期的な計画を策定していく必要がある			

## 総合評価

実績	児童館の統括的かつ効率的な運営がはかれている			
中間評価との相違点	—			
事業指標(数値指標)	地区要望(施設建替・移転等の要望は除く)への非対応件数			
前期(27年度)目標値	—			<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>
単位:	限られた予算により、要望どおりの対応ができないこともあるが代替策等含め対応することを基本とする			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	非対応件数とは、具体的な方針・対応が示せなかったものの
	1			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,077	1,964	2,924	2,918		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 現在、町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの拠点として活用されているが、今後の運営については、類似施設との総合的な運営により、妥当性を検討することも必要である	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 利用及び施設への意見・要望が各地域主体のため、統括的かつ画一的な運営や判断について町主体で実施する必要がある	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 町民の文化活動の振興やコミュニティづくりの拠点として活用されている	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 経費節減しつつ効率的な運営が図れている	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 機能維持において、経費節減等行えているが長期的な計画を作成することでより効果的な運用管理をする必要がある	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能維持及び継続的な維持経費節減</li> <li>・老朽化した建物の存続・廃止を含めた計画策定</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	地域のコミュニティづくりの場である児童館の機能維持について目的は達成できている。
今後の方向性	維持経費の削減を今後も継続する一方、老朽化した建物の存続等について検討する。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	公共施設課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	体育施設維持管理経費							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	町内にある5つの体育施設の維持管理を統括して行う。							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					
機能維持に係る経費削減や効率的な修繕は引き続き行うが、施設(設備含む)の更新が必要な状態であるため、経費削減は困難である					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					
施設設備の必要性や管理形態等の総括的な見直し、検討による効率化は図れる また、施設の存続等の長期的な計画を策定することで効率的な更新が可能である					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					A
	<b>【説明】</b> 引き続き、効率的な施設管理を実施し、管理形態の見直しが課題である 施設更新等においては長期的な計画を策定していく必要がある					

## 総合評価

実績	体育施設の統括的かつ効率的な運営がはかれている				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	体育施設の統括的管理による機能及び環境維持・向上を図るとともに経費の節減・圧縮を				
前期(27年度)目標値	統括的管理による機能及び環境維持・向上、経費の節減・圧縮				
単位:	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	—	—	体育施設の統括的管理により機能及び環境維持・向上を図りつつ経費節減・圧縮すること目的しており、数値的な評価指標では表せない		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		41,409	40,960	48,987	47,412		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 体育施設の維持運営の経費であるため必要である	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町主体の統括管理を基本とし、各設備保守等を必要に応じ、効率的に委託する必要がある	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 統括的維持管理により、効率的運用が図れている	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 機能維持に係る経費節減や効率的な修繕等を行っているが、より効率的に行うため長期的な計画が必要である	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 機能維持において、経費節減等行っているが設備修繕及び更新について長期的な計画を作成することでより効果的な運用管理をする必要がある	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能維持及び継続的な維持経費節減</li> <li>・老朽化した建物の存続・廃止を含めた計画策定</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	施設の維持等に係る経費の節減や効率的な修繕等を行っているが、公共施設再配置計画と関連し老朽化した建物の存続等について検討する。
今後の方向性	維持経費の削減を今後も継続する一方、老朽化した建物の存続等について検討する。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	保険医療課		
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立	
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)	
予算等事業名	保健センター管理運営経費				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>				
内容	保健センターの施設運営と管理に係る経費				
根拠法令 ・条例等					
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		経年劣化に伴い雨漏り等修繕箇所が多く経費の削減は困難である。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		保健センター修繕計画を作成し、修繕箇所の見直しと効率の良い修繕時期・手法を考える。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 引き続き維持管理を行い健康の拠点となるべき施設の維持管理を行う。また、修繕計画を作成し修繕、改修を行い長期利用に向けての管理が必要である。				

## 総合評価

実績	施設維持、使用に伴う光熱水費の管理及び施設維持のための保守点検管理。2階、3階女子トイレ改修、給水管敷設替え工事を実施。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	施設の機能と環境の維持向上				
前期(27年度)目標値					【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
			施設の機能と環境の維持向上を目的としているため数値では、表せない		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,150	4,778	9,101	8,779		
財源内訳	一般財源	4,784	4,445	8,750	8,428		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	366	333	351	351		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町民の健康を守るための事業を行うため必要	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 施設の維持管理のため各専門業者の保守点検が必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 利用者の意見を取り入れ改善・改修等順次行う流れになってきている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 経年劣化に伴い専門的な改修・修繕が必要となっている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 順次改修・修繕が行われているが、大規模な改修(雨漏り等)が必要であるため引き続き保守点検や施設の維持管理を行う。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	町の保健施設として、安心安全に町民の方々に利用していただける様に修繕を必要とする箇所の抽出、利用者の意見をまとめ必要性を検討し改修・修繕し施設の長期利用に向け管理を行う。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	保健センターとしての機能を維持しつつ、町民の健康づくりの拠点として維持していく必要がある。		
今後の方向性	施設の改修計画を定め、老朽化する躯体の部分補修をしながら長期に存続していく。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	健康長寿課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	高齢者福祉施設等関係経費							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	町内各個所にある、高齢者関係福祉施設及び福祉ワークセンターの維持管理の経費							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	高齢者福祉施設等、地域福祉の活性化につながる施設管理費のため		

3) 今年度以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	一部老朽化しており修繕費用も必須のため		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 高齢者や障害者等の生きがいがづくり、社会参加・健康づくりの場として機能しているため		

## 総合評価

実績	ワークセンター及び町内のゲートボール場の維持管理を行った。		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	利用者数		
前期(27年度)目標値	—		
単位:	—		
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	56		
【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,916	1,872	2,077	1,965		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	B	
	【説明】 ワークセンターほど大きな建物は費用も莫大となり、公費を投入せざるを得ない。		
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A	
	【説明】 自主運営で維持するのは非常に難しいと思われる。		
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B	
	【説明】 ワークセンターには「かなな作業所」「シルバー人材センター」が入っており、常時稼働して地域福祉の活性化を図っている。		
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B	
	【説明】 ワークセンターに関しては適切であると感じるが、ゲートボール場については稼働率が低く、改善の余地が必要である。		
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B	
	【説明】 効率性のとおり、ゲートボール場について見直す事が必要。		
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	少ない限られた利用者のためのゲートボール場であるが、借地料や水道代など、費用はそれなりにかかる。		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◎評価者[担当主管課長]

	① 現状維持	② 改善して町が実施	③ 改善して町以外が実施	④ 廃止
理由	施設については、高齢者や就労することが困難な心身障害者の生きがいがづくりや、社会参加の場、健康づくりの場として機能しているため。			
今後の方向性	建物施設については、高熱水費の実費負担をしてもらっているが、老朽化してきているため計画的な修繕計画などの検討や使用料の検討、ゲートボール施設については費用対効果などの検証も必要になってくる。			

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理	実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)
予算等事業名	ITふれあい館管理事業		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>		
内容	ITふれあい館の施設全般の維持管理事業		
根拠法令・条例等	二宮町ITふれあい館の設置及び管理に関する条例		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施	
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか	
<input checked="" type="checkbox"/> ① 検討できる	<input type="checkbox"/> ② 削減は困難
理由	館の機能移転時に、建物や設備の保守関連費用の削減は検討できる。

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか	
<input type="checkbox"/> ① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/> ② 効率化は困難
理由	最低限の経費と人員で運用しており、これ以上の効率化は困難である。

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	<b>【説明】</b> 館本体や館機能のあり方は、公共施設再配置計画の動向に基づき対応する。	

## 総合評価

実績	館の機能を正常に維持した。		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	—		
前期(27年度)目標値	—		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:			
実績値	平成25年度	平成26年度	館の機能を維持向上し、利用者満足を高める。
	—	—	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		6,726	6,543	6,639	6,486		
財源内訳	一般財源	6,454	6,233	6,313	6,177		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	272	310	326	309		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 多くの情報がインターネット等によって提供される中、高齢者や障がい者にデジタルデバインド(情報機器を使いこなせる者とそうでない者の格差)を生じさせないという趣旨で館を設置している。つまり、情報活用能力の最低限からの底上げを目的としており、公費を投入する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 館本体の機能維持については、公共施設として町が実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 現在、館として機能を損ねている箇所はない。正常に稼働している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 警備委託や自動ドア保守委託等は他施設と一括契約したり、電算機材調達が入札したり、清掃の大部分を館スタッフが時間差勤務で実施したりし、費用を抑えている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 上記各項目別評価のとおり、現状維持としたい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	館本体や館機能のあり方は、公共施設再配置計画の動向に基づき対応する。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	多様な情報がインターネット等の情報端末を通して提供される中で、町民の皆様の情報活用能力の底上げを目的としたサービス提供は必要である。公共施設として役割は達成されていると思われるのでサービス機能を移転して今後の運用方針の検討を要する。
今後の方向性	IT関連機器に関するサービス提供は必要であるが、単独の公共施設として運営することについては初期の目的を達成しているものと考えられるため、今後はサービス機能を移転した上で運用方針についての検討を要する。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	町民課
基本構想	戦略的行政運営	重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理	実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)
予算等事業名	町民活動サポートセンター管理運営事業		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>		
内容	にのみや町民活動サポートセンターの管理運営を行い、町民参加と町民活動の推進を図る。		
根拠法令・条例等	にのみや町民活動サポートセンター設置及び管理等に関する規則 二宮町町民参加活動推進条例		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか <input checked="" type="checkbox"/>			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施	
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか <input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> ① 検討できる	<input type="checkbox"/> ② 削減は困難		
理由	施設の維持管理を行う経費は毎年見直しているため		

3) 今年度で以上の事業の効率化は図れるか <input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> ① 検討できる	<input type="checkbox"/> ② 効率化は困難		
理由	※サポートセンター職員がボランティア団体等へ相談や指導が行えるように研修等を行い、町民活動の推進を図れるよう行っている		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 職員がボランティア団体からの相談や指導が行えるように研修等に行き、町民活動の推進を図る	

## 総合評価

実績	—		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	利用者数		
前期(27年度)目標値	—		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	3,410人	3,184人	
			利用者数の設定は行っていないが、前年度より多い人数に利用者数を目標としています。

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,395	5,248	5,491	5,243		
財源内訳	一般財源	5,395	5,248	5,491	5,243		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町民活動推進条例に基づき、町民活動団体が交流したり、情報収集できる場を提供することは必要であり、適切な事業展開である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 実際に使用するのがNPO団体等になるので、施設使い方や運営の方法はNPOに任せた方がよいのだが、現在そのようなNPO団体が無いので、町で管理運営を行っていく。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 町民活動団体の意見を聴取して開設した施設であるが、手狭なことや駐車スペースがないことから、団体の会議、打ち合わせなどの利用が増えていない	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 交流コーナーをはじめ、さまざまな機能を持った施設として運用するなかで、1名の職員で対応している。しかし、町民活動サポートセンター施設は民間の方の建物を賃借しているので、町の施設に移すことで経費削減が図れる。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 町民活動推進条例に基づき、ボランティア活動の拠点となるサポートセンターを提供することは大事なことである。しかしここ数年利用団体の伸び悩みから場所、時間等の検証が必要である。	
今後の方針 (課題・意見等) <input type="checkbox"/> 簡条書き)	利用者数・利用団体をどの様に伸ばしていくのが今後の課題です。 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

◎評価者[担当主管課長]

	① 現状維持	② 改善して町が実施	③ 改善して町以外が実施	④ 廃止
理由	町民活動の拠点として非常に重要な施設であるが、前年度に対して利用団体数が減少しているため。			
今後の方向性	施設の利用促進について、町の広報・HP等を通じてより一層PRしていく必要がある。また、町民、又は団体の相談等に適切に対応できるよう相談機能の強化を図っていく必要がある。経費面においても、他の公共施設に統合できないかということも今後の課題である。			

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	町民課	
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)
予算等事業名	町民サービスプラザ管理運営事業			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>			
内容	住民票、印鑑証明書等の交付や町民相談窓口として町民サービスプラザを設置し、住民サービス向上を図る。			
根拠法令・条例等	二宮町町民サービスプラザ設置規則			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		施設の維持管理を行う経費は毎年見直しているため		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		効率化が図られているため		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	<b>【説明】</b> 高齢者の多い百合が丘地区周辺にて、平日・休日に証明発行や相談が受けることが可能な公共施設であるため利便性はよく、今後も引き続き事業の推進を行っていく			

## 総合評価

実績	—			
中間評価との相違点	—			
事業指標(数値指標)	利用者数			
前期(27年度)目標値	—			<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>
単位:				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	利用者数の設定は行っていないが、前年度より多い人数に利用者数を目標としています。
	3,102人	4,749人		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,946	5,820	6,180	6,051		
財源内訳	一般財源	5,946	5,820	6,180	6,051		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 住民票等の発行業務や相談など、行政サービスの利便性の向上を行うため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 住民票等の発行業務が有り、個人情報を扱うため、町が行わなければならない。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 住民票等の発行業務や相談など、行政サービスの利便性に繋がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 施設内の展示コーナーにて他課からの周知文書やポスター等の掲示を行い、他課からの啓発活動等を行っている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 適正に施設の維持管理を行い、また住民票等の発行業務や相談など、行政サービスの利便性の向上を損なわないように、引続き事業を行う。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	行政サービスの中で、他の部署に関する相談等も窓口に来るため、関係各課と連携して対応していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	高齢者が多い百合が丘地区にとって、身近なところで住民票等の証明の発行だけでなく、相談も受けられるので、必要不可欠な役割を担っている。
今後の方向性	サービスプラザを現在の場所で今後も続けるかどうかは検討の余地はある。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生活環境課	
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)
予算等事業名	環境衛生センター維持管理経費			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>			
内容	環境衛生センターの運営及び維持管理費を行う。			
根拠法令・条例等	—			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		経費削減を心がけた維持管理をしており、現状以上の削減は難しい。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		今まで以上の効率化は難しいが、引き続き効率化も含めた維持管理を行う。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	【説明】 <p style="text-align: center;">引き続き安全・適正かつ効率的な維持管理を実施する。</p>			

## 総合評価

実績	—			
中間評価との相違点	—			
事業指標(数値指標)	—			
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	環境衛生センターの適正な運営及び維持管理
	—			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		14,088	13,405	15,707	14,571		
財源内訳	一般財源	14,084	13,399	15,701	14,565		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	4	6	6	6		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 環境衛生センターは、し尿処理施設、浸出水処理施設、持込みごみの受入分別場所からなっている。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 上記施設からなっており、町が主体となって実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 し尿処理、浸出水処理、持込みごみ受入分別、全体を円滑に管理運営している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 維持管理に必要な経費であり、消耗品の節約や節電等に心がけている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 し尿処理、浸出水処理、持込みごみ受入分別作業の全体の管理運営には必要不可欠な事業である。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・今後も節約、節電に心がけ、安全第一に適正に維持管理を行う。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	適正な維持管理を行う。		
今後の方向性	適正な維持管理を行う。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	産業振興課
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理	実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)
予算等事業名	袖が浦プール運営経費		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>		
内容	夏の観光事業の一つとしてプールを開設し、水浴客に対し、公衆衛生を始め安全等を確保し、プールの管理運営を行なう。		
根拠法令・条例等	二宮町営水泳プール設置条例		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	施設の経年劣化		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	観光施設として今後も運営するのであれば、効率化は困難		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		C
	【説明】	公共施設再配置計画の進捗を見据えながら、管理運営していく。	

## 総合評価

実績	プール開設(7月1日～8月31日)		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	利用者数		
前期(27年度)目標値	5,260人		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成21年度の有料化以降、最多の利用者数(平成22年度)
	4,596人	4233	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		8,513	8,363	6,047	5,607		
財源内訳	一般財源	8,213	8,043	5,747	5,324		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	300	320	300	283		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 観光プールとしての活用以外に、学校プールを有しない近隣小中学校の授業でも利用されている。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 観光プールとしての活用以外に、学校プールを有しない近隣小中学校の授業でも利用されている。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 観光・教育の側面からは一定の成果を上げている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	C
	【説明】 利用料収入に比べ、多額の経費がかかっている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	【説明】 観光・教育の側面からは一定の成果を上げているが、今後も多額の維持管理経費が見込まれ、本体や周辺道路等のインフラを考慮すると、劇的な収入の増加は見込めない施設である。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	町総合計画での位置づけや国の直轄化による海岸復旧から考えれば、将来的には海浜レクリエーション拠点として、袖が浦海岸との一体的な活用も視野に入れる必要があるが、今後も多額の維持管理経費が見込まれるため、公共施設再配置計画が優先されるべきであるとする。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	管理に多額の費用が発生しているが、現状では継続して運営する必要がある。		
今後の方向性	施設老朽化に伴い、今後の維持管理に多大な費用がかかるため、学校における利用状況など調査・検討を行い、存続していくか否か見極める必要がある。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	産業振興課	
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)
予算等事業名	観光施設維持管理経費			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>			
内容	観光客が利用する公衆トイレ及び観光施設の維持管理を行なう。			
根拠法令・条例等	—			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		他施設との一元管理が進めば、削減が見込める		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		他施設との一元管理が進めば、効率化が見込める		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			B
	【説明】 他施設との一元管理も含め、管理の効率化を検討していく。			

## 総合評価

実績	観光トイレ2箇所の維持管理			
中間評価との相違点	—			
事業指標(数値指標)	観光客数			
前期(27年度)目標値	55万人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	直近5年間で最多の観光客数(平成22年1～12月) 実績値は年単位(1～12月)で計上
	44万人	44万人		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,070	974	1,087	995		
財源内訳	一般財源	1,070	974	1,087	995		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 観光客だけでなく、町民の利便を図る施設である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 観光客だけでなく、町民の利便を図る施設である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 町が観光資源として位置づけた場所に設置しており、多くの利用者がある。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 繁忙期・閑散期など、管理にメリハリを付け、管理費用の圧縮を図っている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 観光客だけでなく、町民の利便を図る施設であるため、継続的に管理していく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	観光施設ではあるが、町民の利便性も考えると、他の公共施設との一元管理を図ったほうが効率的と考える。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	観光施設に必要な施設であり、今後の維持管理していく。		
今後の方向性	経費を抑えた中で維持管理を行う。		

		担当部課等名	消防課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11) 適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	消防庁舎維持管理経費							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	消防庁舎の環境を整備し、作業能率の向上を図る。							
根拠法令・条例等	建築物の維持管理に関する各種法令							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		庁舎環境維持のための最小減の経費である。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		清掃を職員が行い経費の削減に努めており、節約意識を高く持って取り組む。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							B
	【説明】 竣工後42年が経過し地盤沈下による不具合が見受けられる。女性職員が誕生し最小限の改修を必要としている。							

総合評価

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の破損や故障した箇所の部分修繕を実施しました。</li> <li>空調設備や非常電源設備等の保守点検を継続して実施し施設の維持管理をしました。</li> </ul>							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)	消防委員会開催回数							
前期(27年度)目標値				3	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
単位:	回				消防庁舎を快適に執務できるよう消防委員会などの改善意見を取り入れて、保守点検や修繕等を実施する。			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
	1	1						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,429	4,278	5,117	4,911		
財源内訳	一般財源	4,429	4,278	5,117	4,911		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 ・出動体制に支障がないよう施設の維持管理や衛生管理を推奨する。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 ・消防庁舎は町の公共施設である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 ・十分成果はあがっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 ・職員で清掃作業を実施している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 ・消防庁舎の環境を計画的な修繕や改修で整備する。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・平成10年度から平成11年度に増築及び耐震補強は実施済みであるが、施設周辺に地盤沈下による不具合が多く見受けられるようになり対策が必要である。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	・風水害や想定される大規模災害等に備えるため、消防組織の拠点となる消防庁舎の改善や改修を行う必要がある。		
今後の方向性	・再配置に関する基本方針により、施設の維持管理計画を策定し計画的に実施する。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)				
予算等事業名	図書館運営事業							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	図書館の運営及び各種事業の展開を図る							
根拠法令・条例等								
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由									

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由									

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由									

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績					
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	利用者数				
前期(27年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		31,884		34,652	34,360		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	
	【説明】	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	
	【説明】	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	
	【説明】	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	
	【説明】	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)		

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由			
今後の方向性			

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立	
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)	
予算等事業名	ふるさとの家維持管理事業				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>				
内容	生涯学習を推進する研修施設として、効果的に活用するための管理運営経費				
根拠法令・条例等	二宮町ふるさとの家条例				
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由	計画どおり貸館としての業務を遂行している。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	今年度で廃止のため。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	今年度で廃止のため				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				D
	【説明】	老朽化が進んでいることと、利用件数が少ないことから費用対効果が望めないため、次年度以降廃止する。			

## 総合評価

実績	平成26年度利用件数30件、利用者数757人				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	利用者数				
前期(27年度)目標値	—				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	667人	757人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		706	640	683	641		
財源内訳	一般財源	650	559	638	605		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	56	81	45	36		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 利用件数が少ないため、公費投入は最小限にすべきである。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 民間に委託する活用方法が望ましい。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	C
	【説明】 利用件数が少ない。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	C
	【説明】 維持管理経費がかかり、効率的ではない。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	D
	【説明】 老朽化が激しいこと、利用者数が少ないことから、廃止する方向が望ましい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	廃止の方向で検討する。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input checked="" type="checkbox"/> ④ 廃止			
理由	ふるさとの家は老朽化が激しく、維持管理費の増大が予想される。		
今後の方向性	廃止の方向で進める。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課	
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)
予算等事業名	生涯学習センター管理運営事業			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>			
内容	生涯学習センター施設の維持管理及び運営を行う。			
根拠法令・条例等	二宮町生涯学習センターの設置及び管理に関する条例			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	施設の管理運営を計画通り進めている。			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	老朽化により修繕箇所が増えているため。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	老朽化により修繕箇所が増えているため、			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	【説明】	多くの方に利用していただいているが、老朽化に対する対応について検討していく必要がある。		

## 総合評価

実績	生涯学習センターの管理運営			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)	利用件数			
前期(27年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
単位:				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	5451	5746		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		55,867	53,911	57,966	57,037		
財源内訳	一般財源	34,965	31,997	36,909	34,738		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	20,902	21,914	21,057	22,299		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 多くの町民が集う文化拠点となっており、公費を投入することが妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 一部委託も取り入れながら、町が主体となって実施すべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 学習・文化活動の場、芸術に触れる場として多くの方に利用いただいている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用を最小限に抑え、成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も多くの方に利用していただける運営をめざした管理運営を行う。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	今後、老朽化による維持管理経費が増大すると予想される。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	効率的な運営がされている。		
今後の方向性	今後も効率的な管理運営を図る。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11)適正な公有財産管理	実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業 (No.85)
予算等事業名	ふたみ記念館管理運営事業		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>		
内容	町民の文化の振興の場として、ふたみ記念館を効果的に活用するための管理運営経費		
根拠法令・条例等	二宮町ふたみ記念館の設置及び管理に関する条例		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	施設の管理運営を計画通り進めている。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	企画展等の工夫により検討は可能である。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	町民参加の機会を増やすことにより検討は可能である。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	<b>【説明】</b> コミュニティミュージアムとして、多くの町民に来てもらうだけでなく、運営に参画してもらうことで推進を図っていきたい。		

## 総合評価

実績	ふたみ記念館の管理運営		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	利用者数		
前期(27年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
単位:			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	1312	2543	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,814	5,386	6,095	5,785		
財源内訳	一般財源	5,362	4,907	5,663	5,489		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	452	479	432	296		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町の芸術・文化の振興を図るため、公費投入は妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 町が主導となり、ボランティアや専門家の意見を聞きながら実施するべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 町の芸術の拠点として徐々に認知されつつある。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 より費用をかけずに効果をあげる必要がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 さらなるPRと経費削減を進めていく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	観光と芸術の両拠点として効果的なPR方法を検討していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民の文化の振興の場として、ふたみ記念館を効果的に活用するための経費である。		
今後の方向性	今後も継続して行くが、経費の削減と施設の有効利用を検討する。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立	
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)	
予算等事業名	テニスコート施設管理運営経費				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>				
内容	町民の体力増進・健康維持及び体育の振興を図るため、テニスコート施設を整備し、管理運営を行う。				
根拠法令・条例等	二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例・条例施行規則				
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		必要最小限で予算を計上している。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		施設管理の修繕及び工事の予算確保が難しいため			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 施設の安全管理を第一に、修繕及び工事を計画していく必要がある。				

## 総合評価

実績	テニスコート(ラディアン2面・緑が丘3面)は、10月～4月までが冬時間で、5月～9月が夏時間で、年間運営を行っています。冬時間(9:00～16:00)・夏時間(9:00～17:00)です。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	利用者数 19,742人(3,911件数)				
前期(27年度)目標値	20,000人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
	単位:				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	16,859人	19,742人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		314	313	266	253		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入しないと維持管理が出来ないため、必要です。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の施設のため、町が主体となり管理している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 維持管理に於いて、利用者が安全安心で利用が出来るため、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 費用をかける場所と職員等に対応出来る場所を検討し、成果を上げています。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 管理するにあたり、管理上改善出来る場所は、随時検討をして改善する。又、費用の必要な場所においても、検討をして、充実して運営管理を目指す。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・施設管理を充実させるため、町民等の意見・管理者の意見を併せて検討をしていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民のスポーツの振興のため、施設管理が適正に行われている。		
今後の方向性	今後も適正な管理に努める。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立	
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)	
予算等事業名	武道館施設管理運営経費				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>				
内容	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図るため、武道館施設の整備を行い、管理運営を行う。				
根拠法令・条例等	二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例・条例施行規則				
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		必要最小限で予算を計上している。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		施設管理の修繕及び工事の予算確保が難しいため			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 施設の安全管理を第一に、修繕及び工事を計画していく必要がある。				

## 総合評価

実績	武道館(剣道場・柔道場)は、休館日が無く、年中無休で管理をしている。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	利用者数 15,762人(986件数)				
前期(27年度)目標値	18,000人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
	単位:				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	22,211人	15,762人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		492	490	403	331		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入しないと維持管理が出来ないため、必要です。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の施設のため、町が主体となり管理している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 維持管理に於いて、利用者が安全安心で利用が出来るため、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 費用をかける場所と職員等で対応出来る場所を検討し、成果を上げています。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 管理するにあたり、管理上改善出来る場所は、随時検討をして改善する。又、費用の必要な場所においても、検討をして、充実して運営管理を目指す。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・施設管理を充実させるため、町民等の意見・管理者の意見を併せて検討をしていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図るため、管理運営を行うことは必要である。		
今後の方向性	今後も適正な管理に努める。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課			
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立		
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)		
予算等事業名	町立体育館施設管理運営事業					
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>					
内容	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図るため、町立体育館施設を整備し、管理運営を行う。					
根拠法令・条例等	二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例・条例施行規則					
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		必要最小限で予算を計上している。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		施設管理の修繕及び工事の予算確保が難しいため			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 施設の安全管理を第一に、修繕及び工事を計画していく必要がある。				

## 総合評価

実績	通年通して開館しています。(平成26年4月1日～平成27年3月31日)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	利用者数 65,956人				
前期(27年度)目標値	66,000人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
	単位:				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	58,994人	65,956人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		7,423	7,417	8,277	8,252		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入しないと維持管理が出来ないため、必要です。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の施設のため、町が主体となり管理している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 維持管理に於いて、利用者が安全安心で利用が出来るため、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 費用をかける場所と職員等で対応出来る場所を検討し、成果を上げています。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 管理するにあたり、管理上改善出来る場所は、随時検討をして改善する。又、費用の必要な場所においても、検討をして、充実して運営管理を目指す。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・施設管理を充実させるため、町民等の意見・管理者の意見を併せて検討をしていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図るため、管理運営を行うことは必要である。		
今後の方向性	今後も適正な管理に努める。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)				
予算等事業名	町民運動場施設管理運営事業							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	町民の体力増進、健康維持及び社会体育の振興を図るため、町民運動場の管理運営を行う。							
根拠法令・条例等	二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例・条例施行規則							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		必要最小限で予算を計上している。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		施設管理の修繕及び工事の予算確保が難しいため						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							B
	【説明】 施設の安全管理を第一に、修繕及び工事を計画していく必要がある。							

## 総合評価

実績	通年通して開館しています。(平成26年4月1日～平成27年3月31日)						
中間評価との相違点							
事業指標(数値指標)	利用者数 47,915人						
前期(27年度)目標値	50,000人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
	単位:						
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	49,701人	47,915人					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		7,961	7,932	9,479	9,194		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入しないと維持管理が出来ないため、必要です。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の施設のため、町が主体となり管理している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 維持管理に於いて、利用者が安全安心で利用が出来ているため、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 費用をかける場所と職員等に対応出来る場所を検討し、成果を上げています。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 管理するにあたり、管理上改善出来る場所は、随時検討をして改善する。又、費用の必要な場所においても、検討をして、充実して運営管理を目指す。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・施設管理を充実させるため、町民等の意見・管理者の意見を併せて検討をしていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民の体力増進、健康維持を図るため、管理運営を行うことは必要である。		
今後の方向性	今後も適正な管理に努める。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立	
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)	
予算等事業名	山西プール施設管理運営事業				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>				
内容	町民に体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図るため、山西プール施設の整備をし、管理運営を行う。				
根拠法令・条例等	二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例・条例施行規則				
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		必要最小限で予算を計上している。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		施設管理の修繕及び工事の予算確保が難しいため			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 施設の安全管理を第一に、修繕及び工事を計画していく必要がある。				

## 総合評価

実績	山西プール開設期間(平成26年7月1日～8月31日)2ヶ月間				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	利用者数 6,427人				
前期(27年度)目標値	8,000人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
	単位:				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	7,847人	6,427人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		6,359	6,062	6,666	6,550		
財源内訳	一般財源	6,359	6,062	6,666	6,550		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入しないと維持管理が出来ないため、必要です。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の施設のため、町が主体となり管理している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 維持管理に於いて、利用者が安全安心で利用が出来るため、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 費用をかける場所と職員等で対応出来る場所を検討し、成果を上げています。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 管理するにあたり、管理上改善出来る場所は、随時検討をして改善する。又、費用の必要な場所においても、検討をして、充実して運営管理を目指す。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・施設管理を充実させるため、町民等の意見・管理者の意見を併せて検討をしていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民の体力増進、健康維持を図るため、管理運営を行うことは必要である。		
今後の方向性	今後も適正な管理に努める。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)				
予算等事業名	町民温水プール施設維持管理事業							
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。</li> <li>・行財政運営の効率化による経費の重点配分。</li> </ul>							
内容	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図る為、温水プールの施設を整備し、管理運営を行う。							
根拠法令・条例等	二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例・条例施行規則							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由	修繕及び工事の調整が進まない				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	必要最小限で予算を計上している。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	施設管理の修繕及び工事の予算確保が難しいため				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					B
	【説明】 施設の安全管理を第一に、修繕及び工事を計画していく必要がある。					

## 総合評価

実績	通年通して開館しています。(平成26年4月1日～平成27年3月31日)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	利用者数 65,148人				
前期(27年度)目標値	70,000人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	65,177人	65,148人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		31,355	31,214	32,926	32,672		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入しないと維持管理が出来ないため、必要です。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の施設のため、町が主体となり管理している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 維持管理に於いて、利用者が安全安心で利用が出来るため、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 費用をかける場所と職員等に対応出来る場所を検討し、成果を上げています。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 管理するにあたり、管理上改善出来る場所は、随時検討をして改善する。又、費用の必要な場所においても、検討をして、充実して運営管理を目指す。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・施設管理を充実させるため、町民等の意見・管理者の意見を併せて検討をしていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民の体力増進、健康維持を図るため、管理運営を行うことは必要である。		
今後の方向性	今後も適正な管理に努める。		